

農林水産省の現場ニーズ対応型 研究開発の進め方が変わります！

農業競争力強化プログラム

- 農林漁業者等のニーズを踏まえた明確な研究目標の下で、農林漁業者、企業、大学、研究機関がチームを組んで、現場への実装までを視野に入れて行う現場実証型の技術開発の推進
- 研究成果の「見える化」
- 熟練農業者のノウハウの「見える化」

基本方針

- 1 **生産現場に役立つ研究に重点化**
- 2 研究推進体制を見直し、研究成果が確実に社会実装に結びつく体制を構築

新たな研究開発の進め方

- ニーズの把握から成果の普及・社会実装までの「一連の流れ」を生産振興部局で一気通貫で行う体制を整備
- **農林漁業者、食品事業者等の意見を聴いて、現場ニーズの高い研究課題や目標を設定**
- 農林漁業者等の参画を要件化し、社会実装を着実に推進

8月中旬から日本全国各地で農業者等の意見を聞くためのキャラバンを行います！

今後のスケジュール

8月 生産者等ヒアリング

生産振興部局が研究課題候補を抽出し、生産振興部局と技術会議事務局の職員が先進的な生産者等を直接訪問して、生産者が直面する技術的な課題や研究課題の候補に関する意見を聴取。

ヒアリング対象者

・水田作、畑作・地域作物、野菜・花き、果樹、畜産、林業、水産業等の生産者

ヒアリングに基づく公募課題とその明確な目標の素案作成

9月 全国説明会・素案に対する意見募集

農林水産省HPや都道府県の普及機関を通じ、素案に対する意見を募集。

意見を素案に反映

10月 生産者・有識者からの助言聴取

素案について、生産現場及び技術の経済性の観点から検討。

メンバーは、水田作・畑作・野菜・果樹・畜産・林業・水産業等の各品目の生産者、経済等の有識者。

公募課題とその明確な目標の決定

12月 概算決定

1月 公募開始

公募課題についての説明会

事業別の
詳細なスケジュールは、
個別事業の資料に
記載しています。

4月 審査・採択

水田作、畑作・地域作物、野菜・花き、果樹、畜産、林業、水産業等の分野ごとに生産者、有識者、行政官が審査を実施。